

受理番号	受理年月日	件 名 及 び 要 旨	提 出 者	送 付 委員会名
30年 第1号	30.3.16	<p>水戸商業高校の教育環境整備に関する陳情</p> <p>茨城県立水戸商業高等学校は、「天下の魁」，「文武両道」，「世界は我が市場」を校是とする，明治35年創立の県下有数の伝統校であり，生徒達は，「燃えよ水商生 目指せ日本一！」を目標に，学習活動や資格取得，部活動に日々努力している。</p> <p>その結果，近年は全商検定試験1級 7種目以上の合格者数が全国第3位・4位となり，平成29年5月には全国商業高等学校長協会より学校表彰を受けている。この表彰は，全国の千四百校を超える会員校の中から選ばれたものであり，「文武両道」の校是のもと，「燃えよ水商生 目指せ日本一！」をスローガンに，生徒・教職員一丸となって頑張っていることが評価されたものである。</p> <p>現在の本校校舎は，1号館（昭和47年1月竣工），2号館（昭和49年10月落成），3号館（昭和55年10月落成）の3棟から成り，1号館・2号館の耐震工事は震災後，完了している。</p> <p>しかしながら，学校規模は，現在も昭和47年1号館竣工当時と同様，1学年7学級で推移してきており，空き教室が全くなく，生徒の「課題研究」や進路希望に応じた少人数授業や，先進校で実施している階段教室での各学科合同の授業など，全く実施不可能な状態である。</p> <p>さらに，一応，耐震工事は完了しているものの，建物自体の老朽化が激しく，他校に比較し，勉学意欲の高い生徒達にとって，驚くほど劣悪な学習環境である。2号館にあっては，水道水が赤サビで濁っており，水道管の全面取り換えが必要である。</p> <p>一方，部活動においては，県下一狭いグラウンドで，野球部，サッカー部，女子ソフトボール部などが，練習場所を譲り合いながら必死に練習し，時には衝突による怪我もしながら練習に励み，全国大会に出場するなど，茨城県の名声を高めている。また，陸上部は，校内での練習場所が確保できず，毎日外部の練習場を求め，借用のために奔走している。</p> <p>時には，野球部，サッカー部，女子ソフトボール部，陸上部などの部員が学校外周をランニングし，住民から苦情が寄せられ，県から注意されることも，たびたびである。</p>	<p>茨城県立水戸商業高等学校同窓 会有志 代表 中村 勝美 外5名</p>	<p>文教警察 委員会</p>

関東地方の歴史と伝統ある商業高校で、人工芝のサッカー場を備えた7階建ての学校（県立前橋商業高校）や温水プールを備えた5階建ての学校（県立千葉商業高校）が、現に存在する。

県は、発想の転換を図り、本校のような敷地の狭い学校の高層化を実現すべきである。

私達同窓生や保護者は、生徒達を他の高校と同様の環境で学習させたいと考えている。老朽化した校舎、劣悪な学習環境、狭いグラウンド問題を解消すべく、現在の1号館から3号館を1棟にまとめ高層化し、地下駐車場を設け、敷地が有効活用されるよう、早期に改善を強くお願いしたい。

また、現在の正門は、昭和47年以前は裏門であり、交差点のカーブする位置にあり、極めて見通しが悪く、現代の交通事情から事故がないのが不思議なくらい、生徒・保護者・教職員にとって危険な位置にある。今回の校舎改築の機会に、正門の位置をかつての正門の位置に移動し、生徒・保護者・教職員にとって安心で安全な登下校の場所にしていただきたい。

（陳情事項）

1 校舎の全面建て替え

特別棟を含む現在3棟ある校舎を、1棟で地下1階、地上7階建てとする。

2 正門の移動

現在の正門を、交通事故防止の観点から、学校創立時と同様の場所に移動すること。

3 校庭の環境整備

安心安全に最大限配慮し、校庭で怪我なく保健体育の授業や部活動に取り組める環境を整備するとともにサブグラウンドを設置すること。